

2023年1月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 臨時市議会の召集
- (2) 人民権力全国議会議員候補者との個別協議プロセス開始

2 外交

- (1) 米国政府による移民受入制限に対するキューバ政府反応
- (2) レキ・インド外務・文化担当閣外大臣のキューバ訪問
- (3) シーヤールトー・ハンガリー外相のキューバ訪問
- (4) 米キューバ間テロ・移民対話の開催
- (5) ディアスカネル大統領のアルゼンチン及びベネズエラ訪問
- (6) ステラ・ローマ法王特使のキューバ訪問

3 経済

- (1) キューバの外貨準備高の推定値公表
- (2) ウェスタンユニオンが米国からキューバへの送金を試験的に再開
- (3) 英国高等裁判所におけるキューバ国立銀行等に対する債権回収請求手続きの開始
- (4) 中国、キューバに対する7億元の寄付金受け渡しに合意
- (5) 国内発電網の大規模保守作業を実施

【本文】

1 内政

- (1) 臨時市議会の召集発表

24日、ラソ人民権力全国議会議長は、本年2月5日に人民権力市議会の臨時議会を召集したことを発表。臨時議会の目的は人民権力全国議会議員の候補者の選出。本年3月26日には人民権力全国議会議員選挙が実施される予定。

- (2) 人民権力全国議会議員候補者との個別協議プロセス開始

29日から2月3日まで、全国議会議員候補者選定委員会が評価し作成した470名の全国議会議員候補者とそれぞれの候補者が属する市議会の代表者との個別協議のプロセスが実施された。

2 外交

- (1) 米国政府による移民受入制限に対するキューバ政府反応

5日、バイデン大統領が、キューバ、ニカラグア、ハイチ3か国出身の不法移民による米
国国境での亡命申請機能を制限し、移民が米国の国境を不法に越えた場合のメキシコへの
送還を強化する一方、米国内にスポンサーがいる場合には2年間米国で労働が可能とする
臨時入国許可制度を導入する旨発表したことに対し、ソベロン・キューバ外務省領事局長は、
同措置は、キューバ人による違法で、無秩序な、危険きわまりない移民の流れを大幅に削減
することに繋がるだろうとコメントした。ただし、米国国土安全保障省によると、「キュー
バ調整法」に基づき、キューバ人に関しては、合法的に入国した場合、同調整法に基づき、
引き続き1年1日で米国での居住申請が可能である由。

(2) レキ・インド外務・文化担当閣外大臣のキューバ訪問（13日～14日）

13日、レキ閣外大臣はディアスカネル大統領を表敬。ディアスカネル大統領は、同大臣
の初めてのキューバ訪問は、インド政府のキューバとの関係強化・拡大の意志及び意欲の現
れとして歓迎するとともに、2030年に向けたキューバの国家経済社会開発計画の一環
として、インドが食糧、医薬品産業、再生可能エネルギー分野の計画に参加しており、今後
はバイオテクノロジー及び環境問題でも協力を拡大する意向であることを確認した。

(3) シーヤールトー・ハンガリー外相のキューバ訪問

18日、シーヤールトー外相はディアスカネル大統領を表敬。ディアスカネル大統領は、
会談で二国間関係をさらに強化する用意があることを再確認し、両国の相互利益分野にお
ける関係多様化の可能性について意見交換を行ったと述べた。また、ロドリゲス外相とも会
談し、二国間および多国間の主要議題について検討するとともに、経済・商業分野での関係
拡大の必要性にも合意した。

(4) 米キューバ間テロ・移民対話の開催

18日～19日、キューバ及び米国の政府当局者がハバナで会合を開催し、テロ、不法移
民、不正な移民手続き等両国の安全に対する脅威への協力につき協議が行われた。キューバ
代表団は、テロリズム、不法移民、その他の違法行為に関連していると特定された、米国に
拠点を置く人物の活動に関する情報及び協力のための提案を米国当局に提出した。両代表
団は、違法行為には両国共通の現象があり、協力が必要であることに合意するとともに、対
話を継続し、二国間協力を具体化するために、両国の捜査機関間で更なる技術的な会合を開
催することで合意した。キューバ代表団は、内務省、外務省、法務省、税関の代表で構成さ
れ、米国側は、国土安全保障省、司法省、國務省の代表者が出席した。

(5) ディアスカネル大統領のアルゼンチン及びベネズエラ訪問（23日～25日）

24日に開催された第7回ラ米・カリブ諸国共同体（CELAC）首脳会合に出席するた
めの公式訪問。ディアスカネル大統領は首脳会談での各国からの発言の機会に、CELAC

の強化は急務であり、共通の義務である旨述べるとともに、加盟国が米国のテロ支援国家リストからのキューバの削除及び対キューバ経済制裁の解除を強く求めたことに謝意を表明した。25日には、フェルナンデス亜大統領と会談し、今次首脳会談で亜が果たした役割に祝意を表するとともに、二国間の絆と共通の関心分野における二国間関係深化の意思を確認した。その他、ディアスカネル大統領はルーラ伯大統領、カストロ・ホンジュラス大統領と会談した。

CELAC首脳会談の帰途、ディアスカネル大統領はベネズエラを訪問し、マドゥーロ・ベネズエラ大統領と会談。両首脳は、国際的な連帯を支持し、平和と協力の世界を守るための決意を再確認した。

(6) ステラ・ローマ法王特使のキューバ訪問（23日～28日）

キューバ外務省発表によると、1998年の1月のヨハネ・パウロ2世のキューバ訪問から25年を記念しての訪問。滞在中、ロドリゲス外務次官と会談した他、ホセ・マルティ生誕170周年を記念して開催された「世界の均衡のために」会議に参加。また、シエンフェゴス等の地方都市において公開ミサを行い、産院を訪問したり保健当局と面談した。

3 経済

(1) キューバの外貨準備高の推定値公表

6日付Cubadebateは、ホセ・ルイス・ロドリゲス元経済企画大臣による分析記事を掲載し、その中でキューバの外貨準備高は2019年は115億2800万ドルであったが、2021年までに25億ドル（22%）減少したと試算した。

(2) ウェスタンユニオンが米国からキューバへの送金を試験的に再開

11日付国営メディアは、2020年11月から2年以上にわたりキューバへの送金を停止していたウェスタンユニオンが、送金サービスを再開した旨報じた。同社の発表によると、このサービスは、マイアミ市内の一部の店舗でのみ利用可能で、送金額上限は2千ドル、同社のウェブサイトやアプリを通じた送金は、現時点ではまだ利用できない由。

(3) 英国高等裁判所におけるキューバ国立銀行等に対する債権回収請求手続きの開始

13日、キューバ中央銀行監督局は、英国高等裁判所において、キューバ国立銀行（BNC）及びキューバ共和国に対する債権回収請求にかかる法的手続きが進められている旨発表した。右発表によると、原告は、ケイマン諸島に設立された「ハゲタカファンド」であるCRFI Limitedで、CRFがBNC及びキューバ政府の債権者（約7,200万ユーロ）であるかどうかの判断について、キューバ側は債権者であったことはない旨主張している。

(4) 中国、キューバに対する7億元の寄付金受け渡しに合意

18日、昨年11月のディアスカネル大統領訪中に際して合意されたキューバに対する7億元（約1億米ドル相当）の寄付金に関し、キューバ中国当局間で受け渡しのための合意書が署名された。本件寄付金は、キューバ経済における優先的な部門と関連した、社会的影響が大きいプロジェクトの実施に向けられる予定。

（5）国内発電網の大規模保守作業を実施

24日、デ・ラ・オ・エネルギー鉱山大臣は、本年最初の4か月間で国内発電網の大規模保守作業を実施予定である旨発表。本件作業は、故障に対してではなく、計画的な保守作業の一環であり、その影響で生じる停電が見込まれるものの、昨年10月に発生した一日あたり10～12時間レベルの停電とはならない旨述べた。